

みなさんこんにちは。生徒会執行部です。

以前みなさんに呼び掛けをしたいじめ防止対策アンケートで集まった回答について、報告します。

まず1つめは、「先生に報告・相談」についてです。アンケートでは、「いじめを見たら報告」、「見かけたら先生に話す」、「話を聞いてあげて一緒に先生に相談する」、などの回答がありました。戸塚定時の先生方はとても優しく、相談されて嫌な顔をする先生はいないと思います。もし困っていることや相談したいことがあれば、誰でもいいので先生に相談してみてください。また、周りに困っていそうな人を見かけたら、ぜひ先生に知らせてください。みんなで気づいて支えることが、いじめを防ぐ大きな力になります。

次に周りの人との関わり方についてです。「なにか困ったことがあったら周りの話しやすい人に話してみる」、逆に「困っていそうな人がもしいたら、声をかける」という回答がありました。私自身、落ち込んでいる人に、なんと声をかけたらいいのか、声をかけるべきなのか、分からないことも多いです。そういう時は、いつもと同じように接したり、そっとそばにいてあげたりするだけでも、きっとその人の安心につながるのではないかと思います。この学校には本当に優しい人がたくさんいると感じます。私が落ち込んでる時にも、そばにいてくれたり、笑わせてくれたり、声をかけてくれたりしてくれる人がいます。だからこの学校では絶対大丈夫、と私は思っています。本当に優しい人たちが溢れているので、つらいときは誰かに声をかけてみてください。みんなで「いじめをしない・させない環境」を作っていきましょう。

いじめはお互いの「違い」が理由になることが多いです。でも、違いが悪いのではなく、その受け止め方が大切です。アンケートに、「相手にどこか変なところがあったとしても自分もどこか変なところがあるかもしれないと考える」という回答がありました。自分の「普通」は他人にとっては普通ではないかもしれません。みんな全く同じ生活をしているかといえばそうとは言えません。人によって違うところがあるので、その違いを認め合うことが、いじめをなくす大切な一歩となります。

いじめ防止対策アンケートには「PINK shirts Day」という回答もありました。まず、ピンクシャツデーとは、カナダでピンクのシャツを着た男子生徒がいじめられていたのを見た他の生徒が、翌日、「みんなで一緒にピンクのシャツを着よう」と呼びかけ、学校全体がピンクの服を身につけていじめに反対し、いじめが無くなったというエピソードが元になったいじめ反対運動です。ピンクシャツデーを通して、いじめに反対するだけでなく、学校全体の仲を深めることもできるのではないかと思います。今後生徒会で、ピンクシャツデーを企画していきたいと考えています。

みなさんで、「いじめをしない・させない」学校をつくっていきましょう。以上で報告を終わります。